

第6学年 国語科学習指導案

日 時 平成20年11月12日(水)6校時

児 童 男15名 女23名 計38名

指導者 前田 華奈子

1 単元名 筆者の考えを受け止め、自分の考えを伝えよう

2 教材名 「平和のとりでを築く」(光村図書6年 下)

3 単元の指導目標

【関心・意欲・態度】「平和」について、関心を持って読んだり、意見を話したり、書いたりする。

【読むこと】 要旨をとらえ、自分の立場を明確にしながら読む。

【書くこと】 自分の考えを明確に表現するために、材料を集めたり、効果的な文章の組み立てを考えたりして書く。

【言語事項】 文や文章にはいろいろな構成があることについて理解する。

4 単元について

高学年の読むことの目標は(3)「目的に応じ、内容や要旨を把握しながら読むことができるようにするとともに、読書を通して考えを広げたり深めたりしようとする態度を育てる。」である。本単元では、内容イ「目的や意図などに応じて、文章の内容を的確に押さえながら要旨をとらえること。」エ「書かれている内容について事象と感想、意見の関係を押さえ、自分の考えを明確にしながら読むこと。」と深く関わっている。

本単元は、「平和のとりでを築く」と「自分の考えを発信しよう」「インターネットと学習」から構成されている。「平和のとりでを築く」を読み取るとともに、「平和」というテーマにかかわる多様な材料を集め、自分なりの考えをもち、発信していく情報活用単元である。

学習材「平和のとりでを築く」の筆者は、1992年に広島平和文化センター理事長を経て、1999年の退任までの約7年間広島市の平和行政に携わってきた。学徒動員中は、広島原爆の「きのこ雲」を遠望している。病没のために未完に終わった「筆者の言葉」では、「戦中から現代までの時間経過の大きさ、社会環境の変化、さらには被爆体験記録・証言をする人たちの高齢化で被爆体験の風化」を危惧している。また、戦争体験の記録・証言の継承へあらたな方法の提案として、現在公刊されている書物を異世代で読み、討論される場の形成を望んでいる。

原爆ドームを世界遺産に登録される期間、実際に携わってきた筆者が原爆ドームが世界遺産となった経緯を述べた「平和のとりでを築く」では、熱い思いが込められ、「話題提示—原爆ドームがたどった歴史—世界遺産への道のり—筆者の思い」というわかりやすい文章構成となっている。

「自分の考えを発信しよう」は、「平和」というテーマにかかわる多様な材料を集め、自分の考えをもち、発信していく学習である。

以上のことにより、本単元はこれまでの学習の総まとめとして、「平和」について自分なりの考えを持ち、それを深めることができる。

5 児童の実態

1学期の説明的文章の学習材「生き物はつながりの中に」では、筆者「中村桂子」さんへ自分の考えを伝えるために手紙を書くという目的を持って学習を進めた。そのためには、まず筆者の主張を読み取りたいという思いを強く持ち、要点をまとめたり、要旨をとらえたりする学習を意欲的に進めることができた。その中で、第1時に書いた要旨と学習後に書いた要旨の比較を通して自己の成長に気づき、学んだ喜びを味わうこともできた。要約する方法も学習した。単元の最後には、実際に自分の考え書いた手紙を送ったのだが、数日後中村さんから一人一人に返事がきたことで、「書く」ことのよさをさらに実感することができた。その後の意識調査では、「書くことは大切」と考えている児童が9割、さらに「文や文章を書く力を伸ばしたい」と考えている児童も9割いた。意欲がある反面、書き方に戸惑う児童もいるので、2学期は、様々な書く活動を行っている。

単元に関する学習としては、2学期から総合的な学習の時間において、「LOVE AND PEACE プロジェクト」ということで、修学旅行で行った平泉の世界遺産登録延期からスタートし、世界遺産、ユネスコ、広島原爆ドーム、原爆、同年代の少女が被爆により亡くなってしまふことなどを調べてきているので、ある程度の知識は蓄えられている。また、実際に戦争を経験された地域の方から話を聴く会の後は、「調べたことよりも実際に話を聞いたことで、恐怖を感じた」と生の声の重さを感じている。話してくれた方は、「戦争体験を語り継いでいくことも大事だが、実際に平和なくらしになるように行動してほしい」という願いを話してくれたことが、子どもたちの心に響いている。学習発表会でも、平和な世界になるようにというメッセージのこもった劇を演じるなど、既に、子どもたちは「戦争が二度と起きないように」「平和な世界を」という願いを持っている。今回の学習ではこれまで学習してきたことが伏線となって結び付き、より深い考えを持ち、考えを伝えることができる文章を書くことができるように学習を進めていきたい。

(3) 指導にあたって

「つかむ」段階では、明確な目的意識を持てるように、文章を読む必然性を確かめて学習を進めていく。今回は、これまでの学習の成果を生かし、「平和な世界になるように、全世界の人たちへ自分の考えを発信しよう」という目的で、原爆当時実際に広島にいた筆者である大牟田稔さんの主張を読みとることで、その意思を引き継ぐことに焦点をあてたい。そのために、まず、題名から内容を推測することで読みの課題を持てるようにしていきたい。

「たしかめる」段階では、筆者の主張を読み取るため、文の内容や文末表現に気をつけながら事実と意見を区別したり、重要語句や中心文に印をつけて要点をまとめたりしながら丁寧に読み取っていきたい。また、自分の考えを確かに持てるようにノートに考えを書いた後、表現する機会を確保するため、全体での発表の前にペア～数人に考えを話す時間をとっていく。話し合いの中で、自分の考えが変容することも大いに認めていきたい。第12、13段では、「原爆ドーム」という実存する建物が「平和のとりで」という「見る人の心」の中に築く「戦争を起ささない、平和な世界をつくろう」という我々の強い意志の象徴になっているという筆者の考えを読み取り、要旨をまとめていく。筆者の主張がもっともな主張であるので、自らの考えをこれまでの学習から深めるため、実際に、現在の「原爆ドーム」の映像を見せて揺さぶりをかけていきたい。見ると、思ったより小さく、周りには高層ビルが立ち並んでいることに違和感を抱く。そこから、実際社会の矛盾を指摘することを通して筆者の論をもう一度見つめなおし、自分の考えを深めるように展開を工夫する。要約する際は、「もし、外国の方に原爆ドームについて説明するとしたら、どのように説明するか」と、必然性のあるしかけで学習を行っていききたい。

「ひろげる」段階では、「自分の考えを発信しよう」という題材のもと、これまでの学習の成果と自分の考えを発信する文章を書く活動を行う。伝えたい考えを明確にし、考えの根拠となる事実を集めて、書きまとめていく。まとめた考えは、HP上で全国、全世界へ発信していきたい。

7 指導計画と評価規準(読む…9時間 書く…5時間 全14時間)

| 段階 | 時間 | 学習内容 | 評価規準 【観点】(方法) |
|-------|-----|---|---|
| つかむ | 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・単元構成を把握し、学習の見通しをもつ。 ・題名を読んで話の内容を推測する。 ・全文音読し、形式段落に分ける。 | 【関】 題名から話の内容に関心を持ち、内容を推測する。(ノート、発言) |
| | 2 | <ul style="list-style-type: none"> ・文章構成(序論、本論、結論)をとらえる。 | 【読】 序論、本論、結論に分けることができる。(発言) |
| たしかめる | 3 | <ul style="list-style-type: none"> ・段落ごとに読みながら、要点をまとめる。 | 【関】 文章の内容について、自分の考えを話す。 |
| | ①②③ | <ul style="list-style-type: none"> ・まとめごとに小見出しをつける。 | 【読】 事実と感想、意見の文の違いがわかる。(発言) |
| | 4 | <ul style="list-style-type: none"> ・筆者の主張に対して、自分で考えたことをまとめ、交流する。 | 【読】 キーワードと中心文から要点をまとめたり、まとめりに合わせて小見出しをつけたりする。(ノート、発言) |
| | ④⑤ | ①話題提示 | |
| | 5 | ②～⑧原爆ドームのたどった年月 | |
| る | ⑥⑦⑧ | ⑨～⑪世界遺産登録までの日々 | |
| | 6 | | |
| | ⑨⑩⑪ | | |

| | | | |
|-----------------------|----------|---|---|
| た し か め る | 7 ⑫⑬ | <ul style="list-style-type: none"> ・筆者の主張を要旨としてまとめる。 ・文章構成図をまとめる。 | 【読】 文末表現に気をつけて要旨をまとめることができる。(ノート、発言) 【読、書】 文章構成図を表現することができる。(ノート) |
| | 8 本時 | <ul style="list-style-type: none"> ・筆者の主張に対する自分の考えを書く。 | 【関】 筆者の主張に対して自分なりの考えをもとうとしている。(ノート、発言) 【読、書】 筆者の主張に対して、自分の考えをまとめたり、再考したりして、表現することができる。(ノート、発言) |
| | 9 | <ul style="list-style-type: none"> ・文章全体を要約する。 | 【読、書】 要点と要旨をもとに、まとめる。(ノート、発言) |
| ひ ろ げ る | 10 11 | <ul style="list-style-type: none"> ・新たに調べたいことをまとめ、情報を集める。 | 【読】 適切に資料を選び、課題に対する答えを明確にする。(ノート) |
| | 12 13 | <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを書きまとめる。 ・書きまとめたものを推敲する。 | 【書】 伝えたいことやその根拠となる内容を構成し、文章で表す。 |
| | 14 | <ul style="list-style-type: none"> ・単元全体を通して、自分で築いた平和のとりでをまとめ、発信する。 | 【読、書】 自分の考えを分かってもらうための具体的な材料を活用する。(ノート、発言) |

8 本時の指導(8 / 14)

(1) 本時の目標

【読むこと】 筆者の主張に対して、自分はどのように考えるのかについてまとめる。

(2) 本時の具体の評価規準

| A 十分満足 | B おおむね満足 | C 努力を要する児童への手立て |
|---|--|---|
| 筆者の主張に対する自分の立場を明確にし、根拠を持って自分の考えを書いたり、自分の考えを再考し、考えを深めたりしている。 | 筆者の主張に対する自分の立場を明確にし、根拠を持って自分の考えを書いている。 | 筆者の主張に対して、賛成か、賛成できないか、自分の立場を決めた根拠を、本文の中で自分の納得できる内容とすることを話す。 |

(3) 本時における書く活動の位置づけ

- ・ 筆者に対する仲間の考えを自分の考えと比較しながら聞き、残したい内容は記録をする。
- ・ 筆者の主張に対する立場を明確にするために、自分の考えとその根拠を書く。
- ・ 筆者の主張を実際に経験し、もう一度自分の主張を再考して考えを書く。
- ・ 学んだことや自分の変容を認識して、次々の意欲喚起を図るために、学習感想を書く。

(4)展開

| 段階 | 学習活動 | 指導上の留意点 (☆ 評価) |
|------------|---|---|
| つかむ5分 | 1 全文音読をする。 2 既習事項を想起する。 3 本時の課題を把握する。 筆者の主張に対する自分の考えをまとめよう。 | <ul style="list-style-type: none"> ・筆者の主張(要旨)である「原爆ドームは、核兵器は不必要だと警告し、それを見る人の心に平和のとりでを築くための世界の遺産なのだ。」について、確認する。 ・筆者の主張に対して、自分の考えを明確にし、まとめることを確認する。 |
| 深める35分 | 4 課題解決をする。 (1)自分の立場を明確にする。 (2)自分の考えを書く。 (3)相互交流をする。 (4)筆者の主張を受けて、実際に原爆ドームの映像を見る。 (5)自分の考えを書く。 (6)相互交流をする。 5 課題のまとめをする。 | <ul style="list-style-type: none"> ・筆者の主張に対して、賛成か、賛成できないかを決める。 ・自分の立場と、その根拠を書く。 ・立場を明確にし、根拠とともに自分の考えを発表する。 ・お互いの意見を認めながら、考えを交流しあう。 ・比較し、メモをしながら聞くよう話す。 ☆筆者の主張に対する自分の考えをもち、表現することができるか。(ノート) ・映像を見て、感じたことを話し合う。 ・再び筆者の主張に対して、賛成か、賛成できないかを決める。 ・筆者の思いと映像との比較し、根拠を明確にして、自分の考えを書く。 ・立場を明確にし、根拠をとともに自分の考えを発表する。 ・お互いの意見を認めながら、考えを交流しあう。 ☆筆者の主張に対する自分の考えを再考し、表現することができるか。(ノート) ・筆者の論に対して、賛成や反対などの自分の立場を明確にし、筆者に語り返すことを「批評する」ということであることを話す。 |
| 5分 まとめる | 6 学習を振り返る。 7 今後の予定を確認する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・学習感想を書く。 ・文章全体を要約していくことを話す。 |

(5)板書計画

・ ・ 賛成できない

・ ・ 賛成

・ 筆者の主張に対して

・ 原爆ドームが危ない

原爆ドームの現状を
実際にみてみると・

・ ・ 賛成できない

・ ・ 賛成

・ 筆者の主張に対して

・ 筆者に対する自分の考えを
まとめよう。

・ ・ 賛成できない

・ ・ 賛成

・ 筆者の主張に対して

・ 原爆ドームが危ない

原爆ドームの現状を
実際にみてみると・

・ ・ 賛成できない

・ ・ 賛成

・ 筆者の主張に対して

・ 筆者に対する自分の考えを
まとめよう。

平和のとりでを築く

要旨(筆者の主張)

大牟田 稔